



食と緑の地域活動支援による魅力ある社会の創成

林 久喜(生命環境系・教授)・瀬古澤由彦(生命環境系・助教)
水田大輝(生命環境系・助教)・齋藤 明(農林技術センター・技術職員)

大学の持つ幅広く深い知力や高い技術力に期待する社会の声は益々高まってきています。食と緑に関する知と技が結集した組織である筑波大学農林技術センターに勤務する人的資源を地域活動支援に活かすことで、魅力ある社会の創成につなげていくのが本プロジェクトの目的です。

本プロジェクトは小・中学校における総合学習や営農大学校における専門教育の指導、科学技術週間を通じた青少年育成、東日本大震災被災地における心の復興支援、国立科学博物館筑波実験植物園活動支援、公開講座や地方自治体等からの要請に基づく地域振興活動並びに研究会の開催などを通じて、食育活動、環境教育活動、教育の場の提供、技術指導、教育プログラム開発など、食と緑に関連した様々な活動を支援・展開しました。



第13回そば研究会



農林技術センター校外学習



科学技術週間
そばの秘密



被覆作物による除染



東日本大震災復興支援
そばの復興



科学技術週間
自動トラクタの秘密



大子西中学校
そばを用いた総合学習



精華小学校
スターリングエンジン



青森県営農大学校
SEICAの活用



中郷小学校
糸を紡ぐ

筑波大学 平成24年度科学技術週間 参加費無料

食と緑の体験教室

筑波大学農林技術センター
2012年4月21日(土)
9時~17時

- 1 そばの秘密、十割そばを作ってみよう
親子で手揉そばを作ってみよう。そばについて学びます。
- 2 押し花のしおり作りをしてみよう
親子で押し花のしおりを作り、花の色について学びます。
- 3 ウンとニワトリの秘密
親子でウンとニワトリのしおり作り、牛乳と卵の秘密に学びます。
- 4 自動トラクタの秘密
農業機械に乗ったり農作業体験をしたり、自動で動くトラクタの秘密に学びます。
- 5 身近なモノから紙を作ろう
身近なモノから紙を作り、紙を作る科学を学びます。
- 6 農産物販売
農産物販売で生産された農産物を販売します。

参加条件など

No.	内容	参加可能人数	対象者	時間
1	そば	20組(40人)	小学3年生以上の子どもとその保護者	9:00~11:30と13:30~16:00(2回)
2	押し花	10組(20人)	小学3年生以上の子どもとその保護者	9:00~11:30と13:30~16:00(2回)
3	ウンとニワトリ	20人	小学3年生以上の子どもとその保護者	10:00~11:00(1回)
4	自動トラクタ	20人	小学3年生以上	9:00~11:30と13:30~16:00(2回)
5	紙	20人	小学3年生以上	9:00~11:30と13:30~16:00(2回)
6	農産物販売	制限なし	定年未満	10:00~17:00(2回(定員満了終了))

お問い合わせ先
農林技術センター 農産物販売係
TEL: 029-853-2500
E-mail: nrm@nrm.tsukuba.ac.jp
http://www.nourin.tsukuba.ac.jp

お問い合わせ先
農林技術センター
TEL: 029-853-2500
E-mail: nrm@nrm.tsukuba.ac.jp
http://www.nourin.tsukuba.ac.jp

科学技術週間



栗原小学校
田植え体験実習



松代小学校
雑穀の調理実習



筑波実験植物園
さくらそう展覧増殖



科学技術週間
ウンとニワトリの秘密

地域社会にもたらされた成果、効果等

- ①食育および環境教育の両面から地域社会における生涯学習が進展した。
- ②北茨城市では東日本大震災からの復興・復旧が進展し、小学生ならびに地域住民の心の復興に貢献できた。
- ③教職員が持つ、食育および環境教育に関するノウハウが教師など地域社会における指導者に伝授された。
- ④連携協定の締結先である市町村との交流が盛んになり、相互の信頼関係が増し、地域社会として機関連携が円滑に進んだ。
- ⑤教育プログラムが開発された。
- ⑥技術職員の意識の改革につながり、新たな展開がもたらされた。
- ⑦地域社会における筑波大学の社会貢献実績が評価され、健全な地域社会の創成につながった。

連携した地方自治体等 ・つくば市、つくば市教育委員会、松代小学校、栗原小学校、さくら保育園、つくば特別支援学校
・久慈郡大子町、大子町教育委員会、大子西中学校 ・北茨城市、北茨城市教育委員会、精華小学校、中郷小学校
・青森県、青森県営農大学校 ・秋田県、秋田県農政部、鹿角市役所 ・富山県、富山県農政部
・さくらそう里親の会、NPO法人つくばアーバンガーデニング ・国立科学博物館筑波植物園
学内連携 ・筑波大学臨床医学系、朝田教授、石川講師、医学医療系、阪本講師、人間総合科学研究科、水上教授

